

# 第1回 神戸 2025 ビジョン策定に向けたワーキンググループ

日 時：令和2年8月5日（水）10:00～12:00

議論テーマ「若者が選ぶまち」

令和2年8月5日（水）17:00～19:00

議論テーマ「誰もが活躍するまち」

場 所：三宮研修センター会議室 8階801号室

## 議 事 次 第

（配付資料）

### 1 開会

資料1 ワーキンググループ開催要綱

資料2 委員名簿

### 2 議事

（1）神戸 2025 ビジョンの全体構成について

資料3 神戸 2025 ビジョンの位置づけ

資料4 神戸人口ビジョン改訂版（概要）

資料5 神戸 2020 ビジョン総括報告書（速報版）

資料6 第1回有識者検討会議議事要旨

資料7 神戸 2025 ビジョン全体構成（案）

（2）神戸 2025 ビジョンに盛り込むべき施策について

資料8 取組みの中の主な事業（令和2年度予算）

### 3 その他報告事項

今後のスケジュールについて

資料9 2025 ビジョン策定体制及びスケジュール

### 4 閉会

## 神戸 2025 ビジョン策定に向けたワーキンググループ開催要綱

令和 2 年 6 月 11 日

企画調整局長決定

## (趣旨)

第 1 条 神戸 2025 ビジョンを策定するにあたり、専門的かつ幅広い見地、着想から、計画の全体構成に資する積極的なアイデアの案出を求めることを目的として、神戸 2025 ビジョン策定に向けたワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を開催する。

## (委員)

第 2 条 ワーキンググループに参加する委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
  - (2) 前号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者
- 2 前項の規定により委嘱する委員の人数は、10 名以内とする。
- 3 その他、市長は、特定の事項について専門的知識を有する者を臨時委員として参加させることができる。

## (任期)

第 3 条 委員の任期は、委嘱の日から令和 3 年 3 月 31 日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

## (ワーキンググループの公開)

第 4 条 ワーキンググループは、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、企画調整局長が公開しないと決めたときは、この限りでない。

- (1) 神戸市情報公開条例（平成 13 年神戸市条例第 29 号）第 10 条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合
  - (2) ワーキンググループを公開することにより公正かつ円滑なワーキンググループの進行が著しく損なわれると認められる場合
- 2 ワーキンググループの傍聴については、神戸市有識者会議傍聴要綱（平成 25 年 3 月 27 日市長決定）を適用する。

## (施行細目の委任)

第 5 条 この要綱に定めるもののほか、ワーキンググループの開催に必要な事項は、政策調査担当課長が定める。

附 則（令和 2 年 6 月 11 日決裁）

## (施行期日)

- 1 この要綱は、令和 2 年 6 月 11 日より施行する。

## (要綱の失効)

- 2 この要綱は、令和 3 年 3 月 31 日限り、その効力を失う。

## 「神戸 2025 ビジョン」策定に向けたワーキンググループ 委員名簿

※ 五十音順、敬称略

## 1. 議論テーマ「若者が選ぶまち」

神戸大学大学院工学研究科 准教授

おたざわ としもり  
織田澤 利守

株式会社三井住友銀行 公務法人営業第二部 部長代理

だいに えみこ  
大仁 恵美子

ヤフー株式会社

たなべ あきひろ  
田邊 昭博

こ・ねくすと 代表

にしおか さちこ  
西岡 幸子

## 2. 議論テーマ「誰もが活躍するまち」

関西学院大学人間福祉学部 准教授

さわだ ゆきこ  
澤田 有希子

兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 教授

たけむら ただまさ  
竹村 匡正

神戸労働者福祉協議会 委員

ながの あつこ  
永野 敦子林英樹司法書士事務所 司法書士  
東灘区カネボウアーバン自治会 会長はやし ひでき  
林 英樹

学校法人摺河学園 学園長

やまだ もとやす  
山田 基靖

## 1. 総合基本計画の実施計画

2025年度までの神戸の都市像、まちづくりの方向性を示した「新・神戸市基本構想」、「神戸づくりの指針」を実現するための実施計画。

### 長期ビジョン

【新・神戸市基本構想(1993～2025)】  
《基本理念》世界とふれあう市民創造都市

#### <都市像>

ともに築く  
人間尊重のまち

福祉の心が通う生活  
充実のまち

魅力が息づく  
快適環境のまち

国際性にあふれる  
文化交流のまち

次代を支える  
経済躍動のまち

【神戸づくりの指針(2011～2025)】  
創造都市(デザイン都市)の実現

市民の視点:市民一人ひとりが能力を  
発揮するまち

地域の視点:人と人とのつながりを  
活かし地域が主体となるまち

広域的な視点:新たな価値を創造し  
世界へ発信するまち

### 実施計画

2015ビジョン  
(2011～2015)  
くらし・経済の向上  
新たな価値・魅力の創出

2020ビジョン  
(2016～2020)  
「若者に選ばれるまち」  
「誰もが活躍するまち」

2025ビジョン  
(2021～2025)

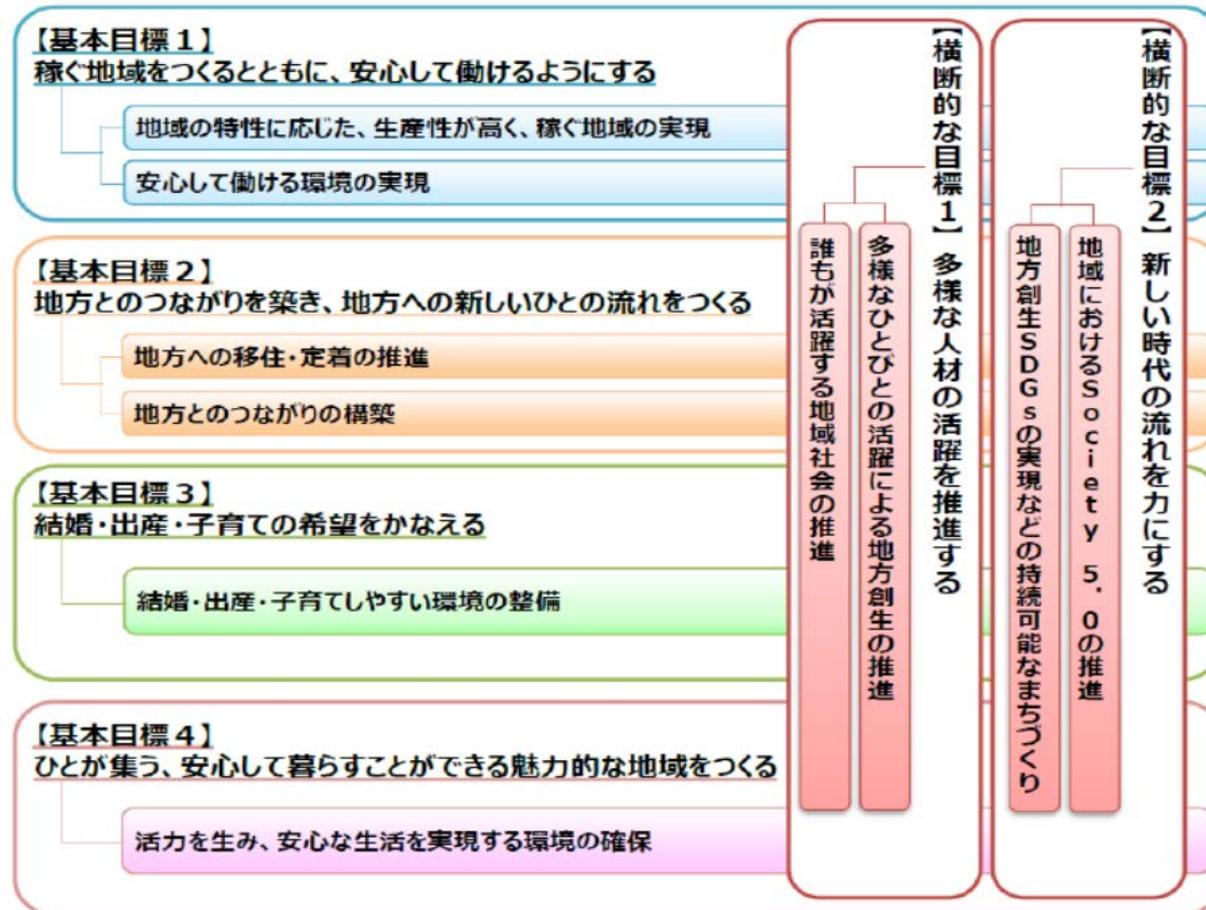
「市民生活」「福祉」「環境」等の部門別計画

## 2. 地方版総合戦略（神戸創生戦略）

人口減少を抑制するとともに、東京圏への人口一極集中を是正し、地方創生を実現するために制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」。

昨年度改定を行った神戸人口ビジョンを踏まえつつ、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し策定をしていく必要がある。

### ●第2期「総合戦略」の政策の方向性（第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋）



# 神戸人口ビジョン改定版 〔概要〕

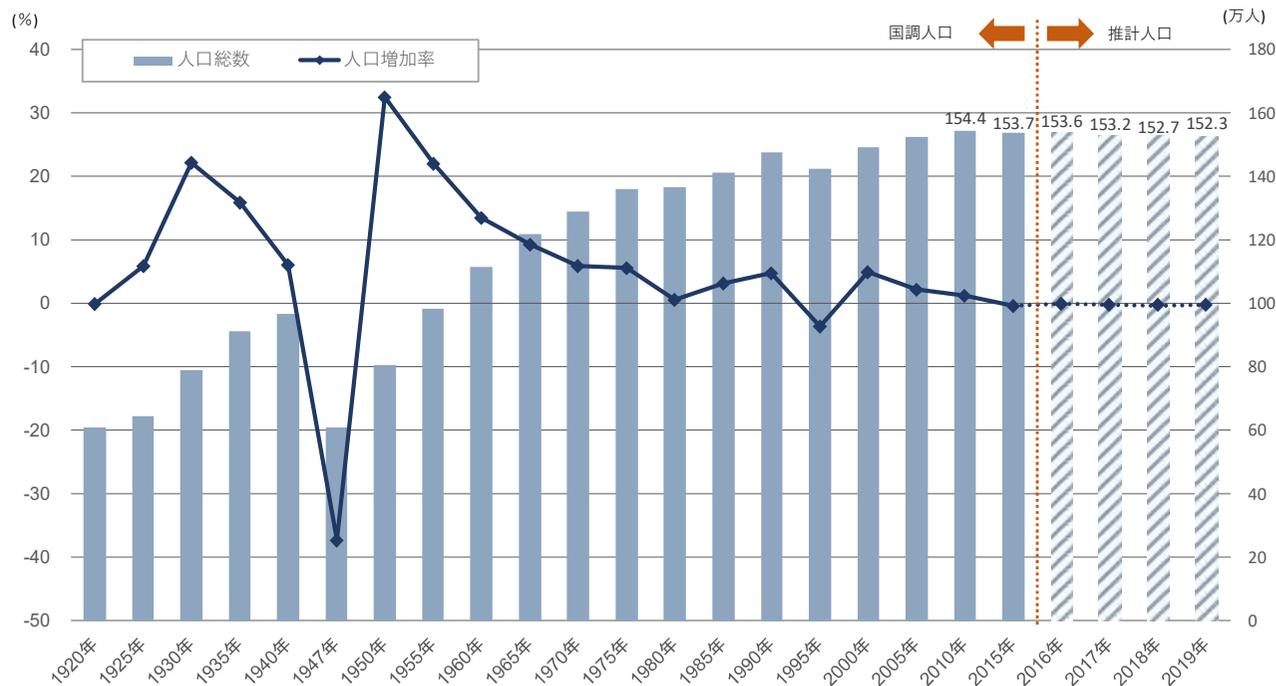
神戸市企画調整局企画課

# 神戸市の人口動態

## 人口は減少傾向が続く

- ・ 神戸市の人口は、国勢調査ベースでは2010年の154.4万人をピークに、直近の調査である2015年調査において、戦災、震災以外の局面で初めて減少。
- ・ 2019年の推計人口は、152.3万人
- ・ 人口減少に転じて以降の毎年の人口減少率は-0.1%~-0.3%程度

神戸市の総人口と人口増加率の推移



(注) 2015年までは国勢調査、2016年以降は推計人口(毎年10月1日時点)による。

(資料) 総務省「国勢調査」、神戸市「毎月推計人口」

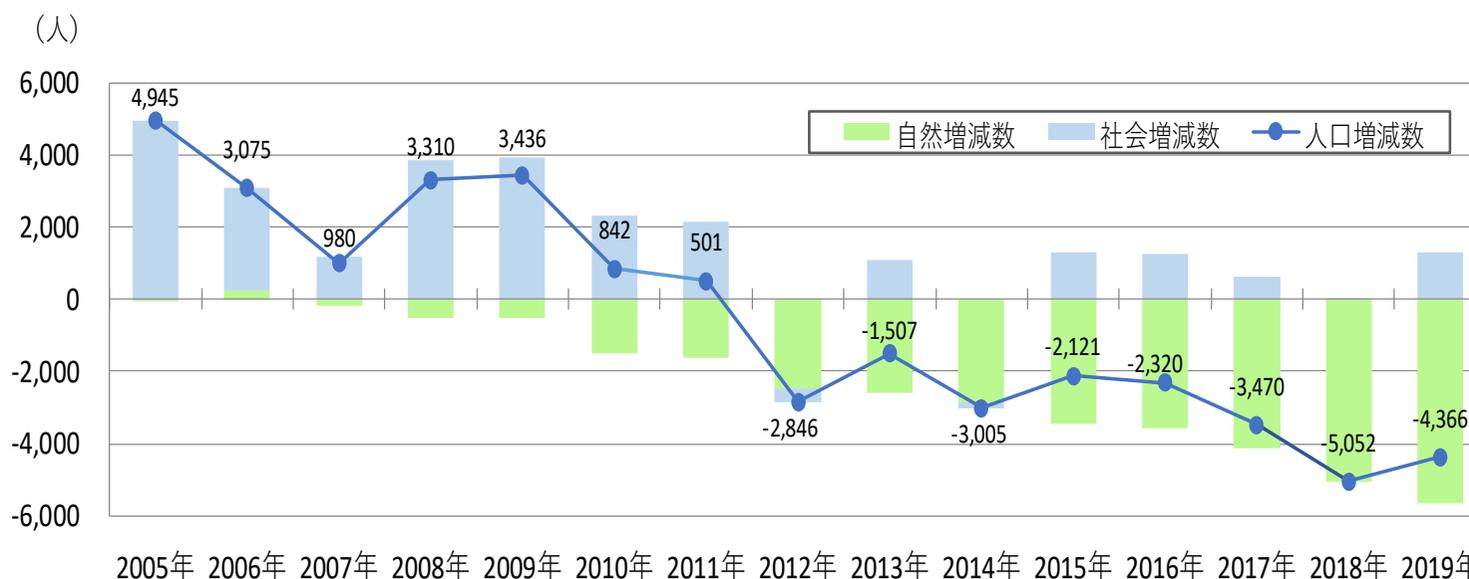


# 神戸市の人口動態

## 人口減少の主な原因は自然減少の増加と転入超過幅の減少

- ・ 2011年までは自然減少を転入増加で補っていたが、近年は補えていない
- ・ 死亡が出生を大幅に上回る自然減少が進行

### 人口増減数の推移



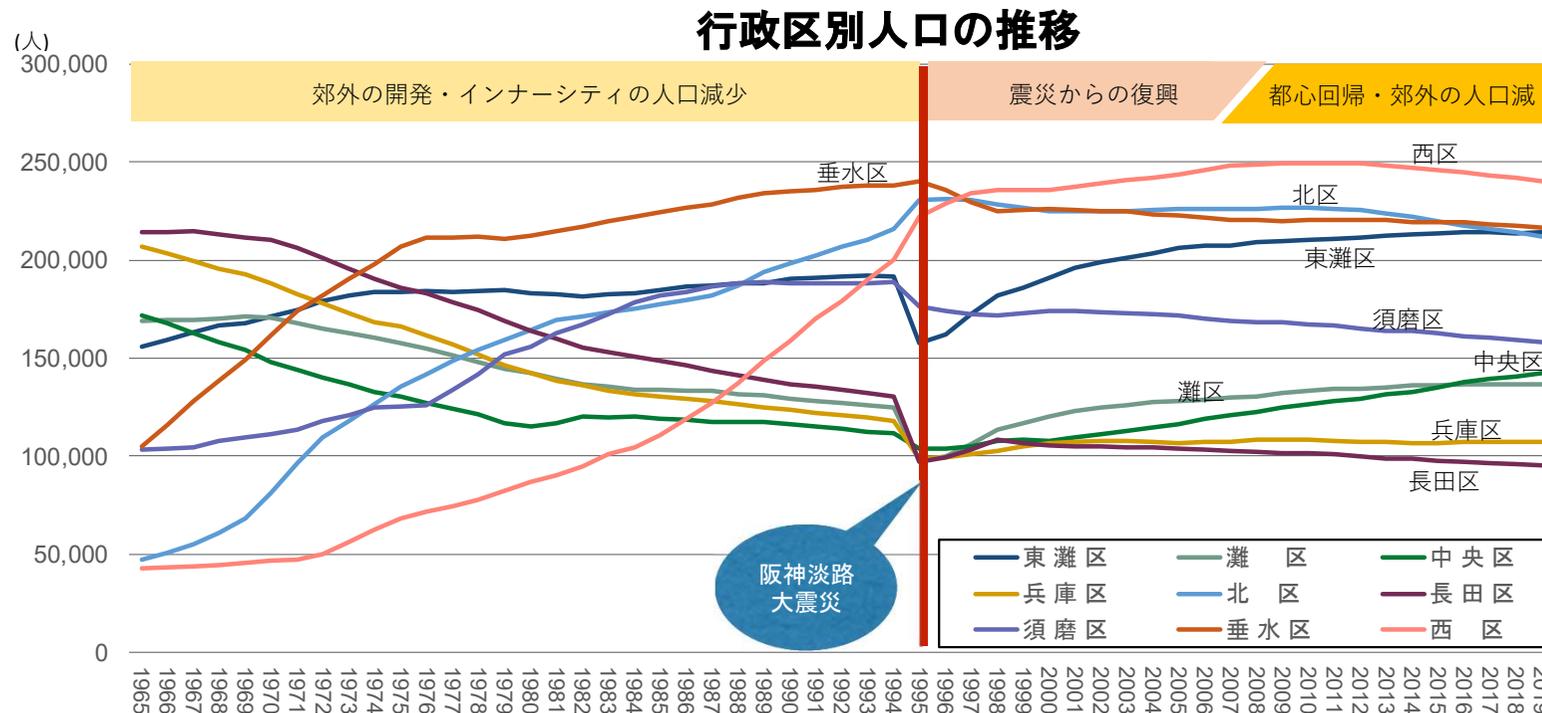
(注) 住民基本台帳による各年の人口増減。  
(資料) 神戸市「人口の動き」



# 神戸市の人口動態

## 人口減少地域の中心はインナーシティから郊外へ

- ・ 1970年代から震災が発生した95年ごろまで、人口減少の中心は長田区、兵庫区
- ・ 震災以降、須磨区で、また2010年ごろから北区・垂水区、次いで西区で人口が減少するなど、郊外における人口減少が目立つ



(注1) 分区、合併した区の人口については、現在の行政区に相当するエリアの人口を示している

(注2) 1965, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 2000, 2005, 2010, 2015年の人口は国勢調査による。1998年は被災地人口実態調査、1996, 97, 99年, 2001~2004年, 2006~2009年, 2011~2014年は遡及修正推計人口、その他の年は推計人口。

(資料) 神戸市「統計神戸1992・No.554『神戸市の人口150万人に』」、神戸市統計書

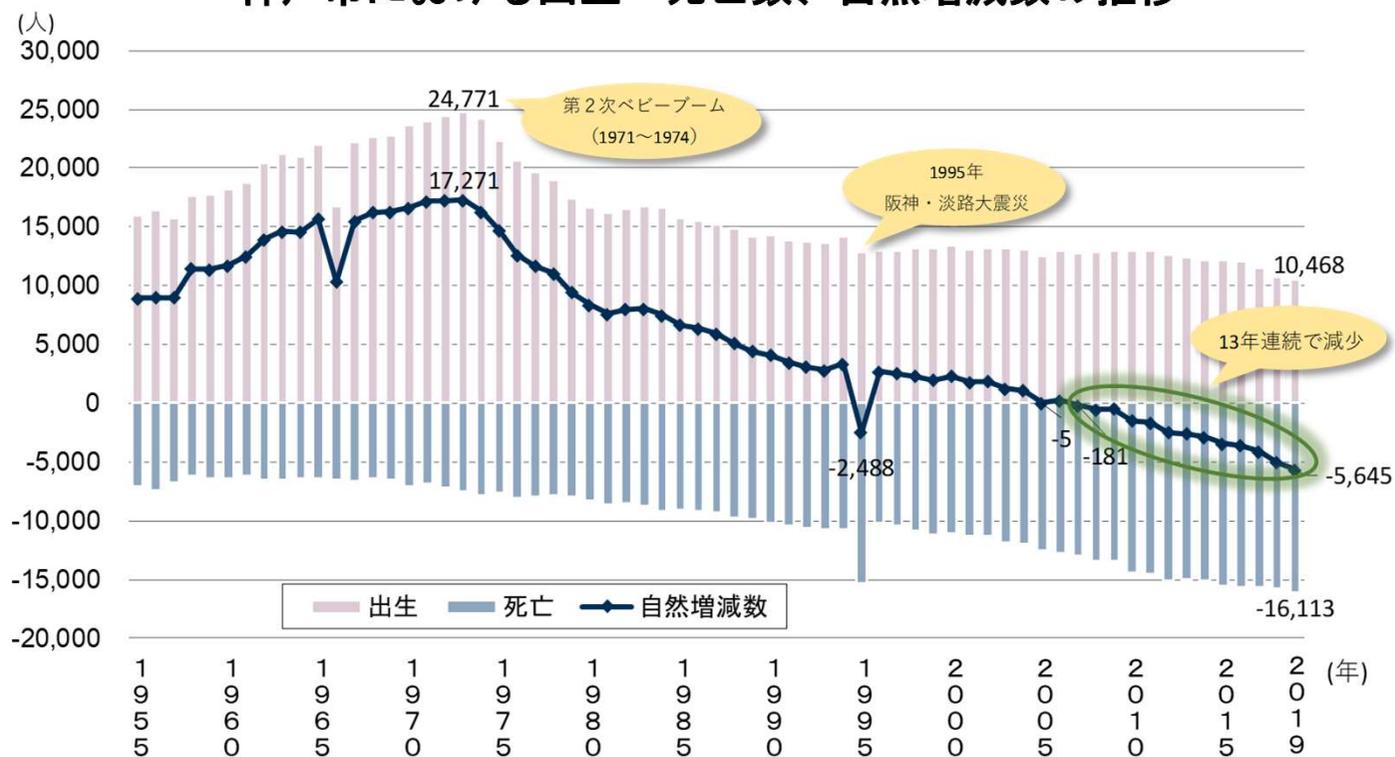


# 人口減少の背景

## 自然減少：2007年以降13年連続で自然減少

- ・ 少子高齢化に伴う出生数の減少、死亡数の増加により、2005年に自然減少に転じ、2007年以降13年連続で自然減少が続いている。
- ・ 2019年の出生数は10,468人、死亡数は16,113人

神戸市における出生・死亡数、自然増減数の推移



(注) 住民基本台帳による出生・死亡数 (資料) 神戸市統計書

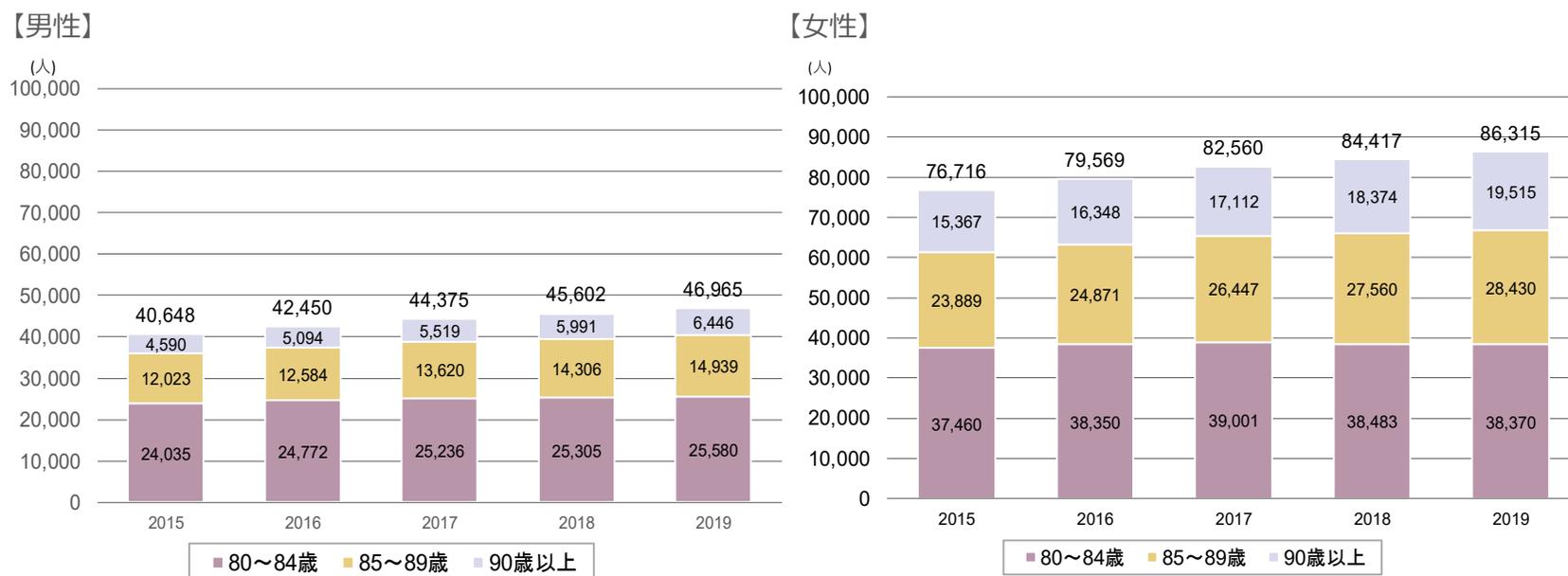


# 人口減少の背景

## 自然減少：後期高齢者の増加に伴う死亡数の増加

- ・ 神戸市における平均寿命は（男性80.9歳、女性87.0歳）
- ・ 80歳代に達する人口が増えており、死亡数は今後も増加が見込まれる

### 神戸市における80歳以上人口の推移



（注）2015年までは国勢調査、2016年以降は推計人口（毎年10月1日時点）による。

（資料）総務省「国勢調査」、神戸市「毎月推計人口」

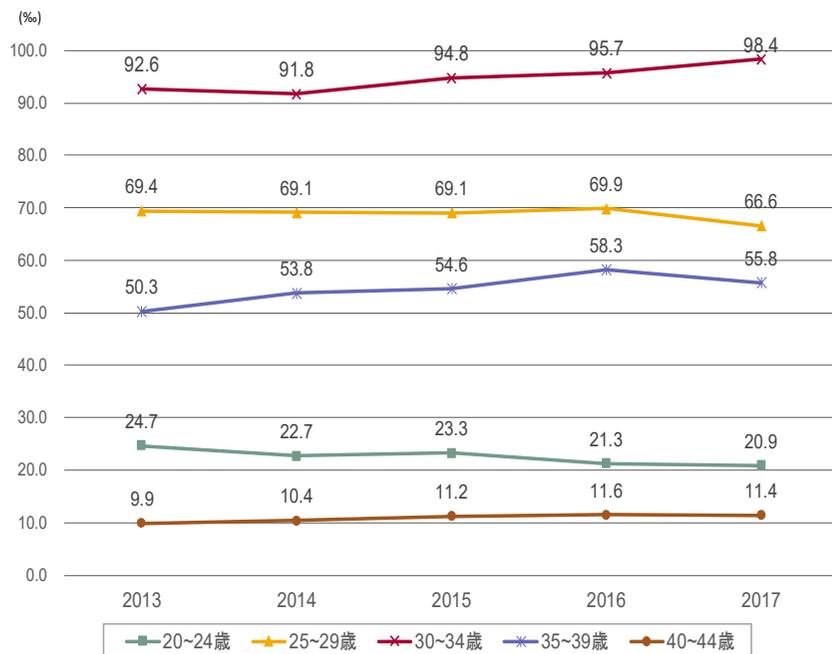


# 人口減少の背景

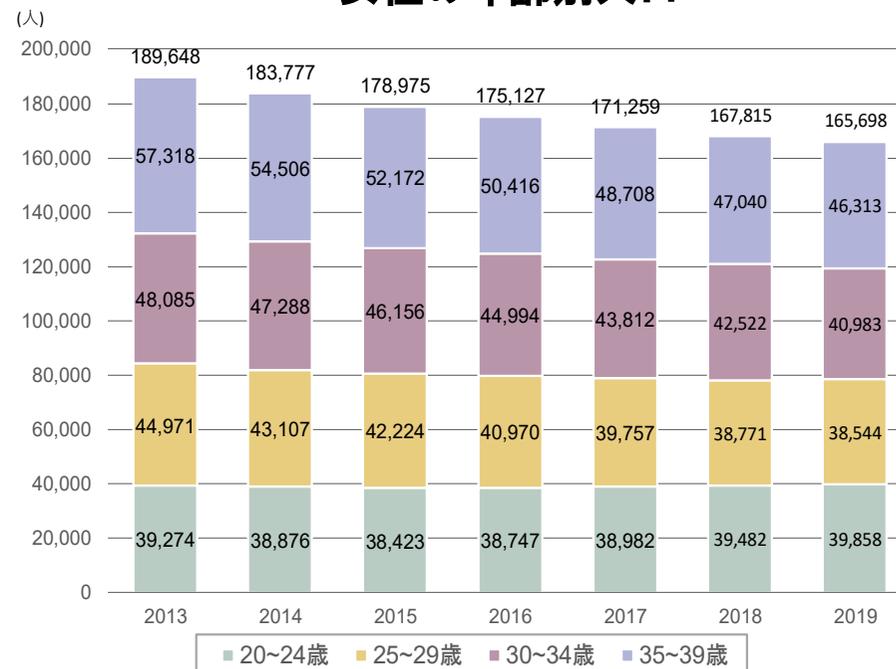
## 自然減少：少母化に伴う出生数の減少

- ・ 母の年齢別の出生率には大きな変化がないが、出生数は減り続けている。
- ・ 近年における出生数の減少は、20・30歳代の女性の人口そのものが（構造的に）減少していることが背景にあると考えられる。

母の年齢別出生率（千人あたり）



女性の年齢別人口



（注）年齢別の出生数は兵庫県「保健統計年報」、  
年齢別の女性の人口は神戸市における住民基本台帳の人口、  
年齢別に「出生数/女性の人口×1000」という計算をしている。

（資料）住民基本台帳の人口による（各年12月31日時点）

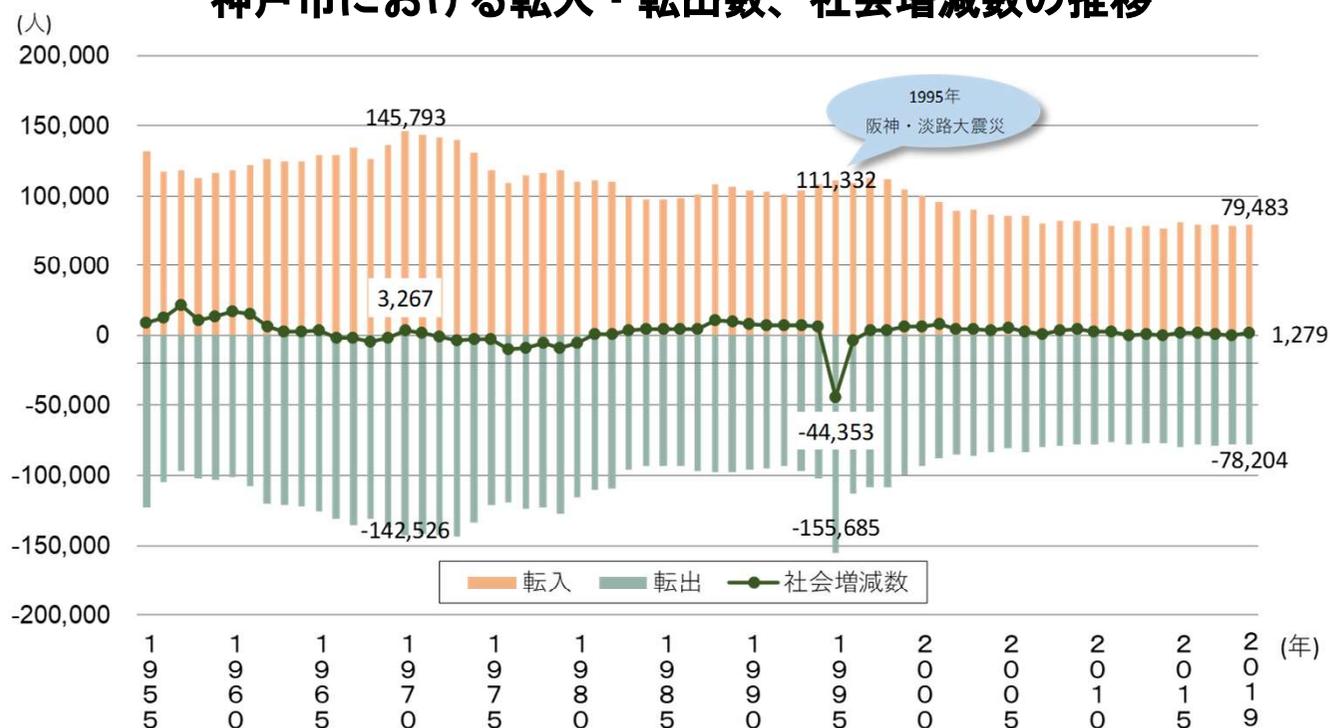


# 人口減少の背景

## 社会増減：転入超過幅は減少傾向

- ・ 神戸市における社会増減は、97年以降転入超過が続いているものの、近年はその数が1,000人を切る年もあるなど、転入超過幅は縮小傾向。
- ・ 2019年は転入者の増加もあり、1,279人の転入超過。

神戸市における転入・転出数、社会増減数の推移



(注) 住民基本台帳人口における各年の転入・転出数。本表には職権による加除を含むが、以後の図表における転入、転出数には職権による加除を含めない。

(資料) 神戸市「人口の動き」

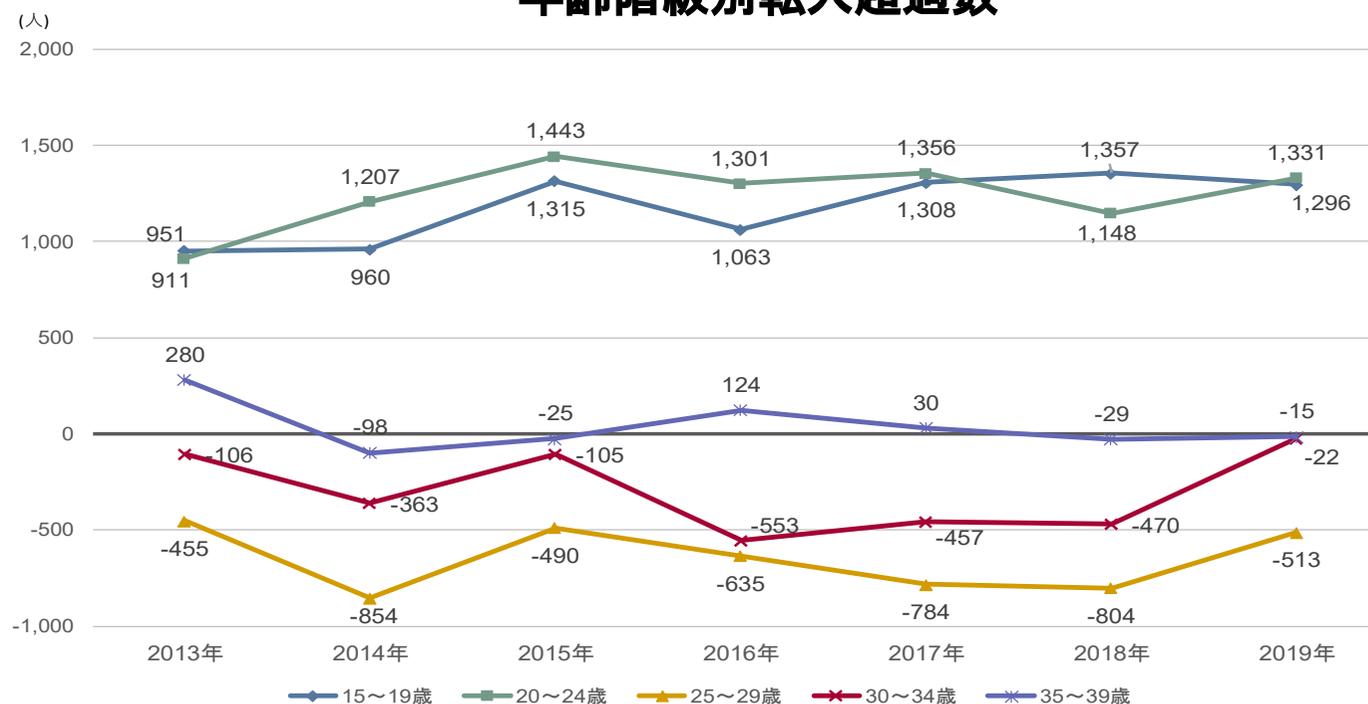


# 人口減少の背景

## 社会増減：年齢別では25歳から34歳で転出が大きい

- ・ 15歳から24歳までの人が転入し、25歳から34歳までの人が転出する傾向が続いている。

### 年齢階級別転入超過数



(注) 住民基本台帳人口における年齢別の転入転出数をもとに算出している

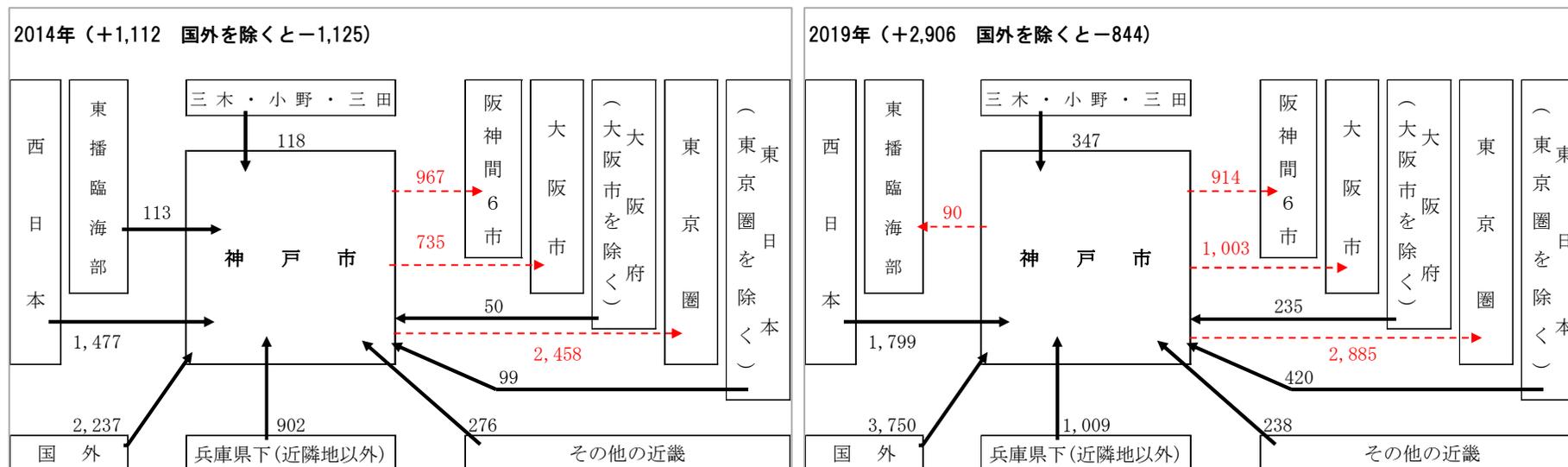


# 人口減少の背景

## 社会増減：東京圏・大阪市等に対して転出超過

- ・ 東京圏や大阪市、阪神間6市に対して大幅に転出超過
- ・ 2014年時点では転入超過だった東播臨海部に対しては、2019年では転出超過に転じている（主に明石市に対して転出超過）
- ・ 2014年と比べて、国外からの転入超過が拡大

### 相手地域別転入超過数



(注) 東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) 阪神間6市(尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市)

東播臨海部(明石市、加古川市、高砂市、加古郡) 西日本(中国、四国、九州・沖縄地方の各県)

(資料) 神戸市「人口の動き」

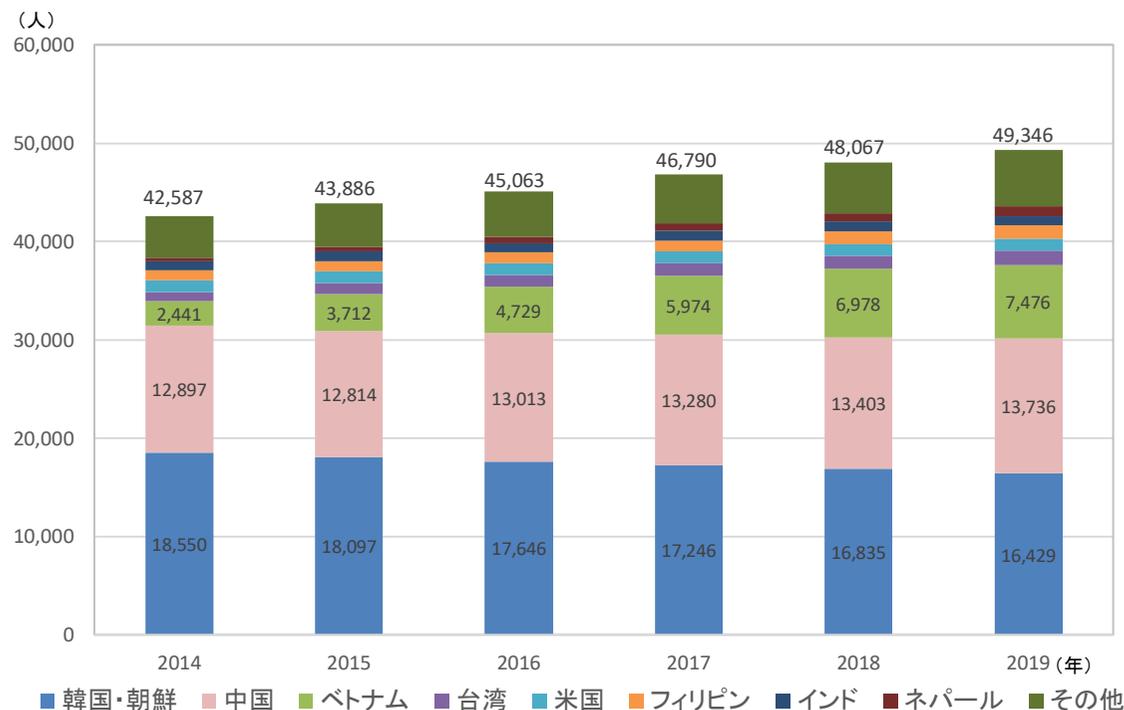


# 人口減少の背景

## 社会増減：外国人はベトナム人の増加が顕著

- ・ 韓国・朝鮮が減少傾向の一方で、中国・ベトナム等が増加
- ・ 特にベトナムは2014年から19年にかけて、3倍以上に増加している

国・地域別外国人人口の推移



(注) 各年12月末日の数値。2019年時点で在住者が600未満の国・地域は「その他」に集約した。

(資料) 住民基本台帳人口

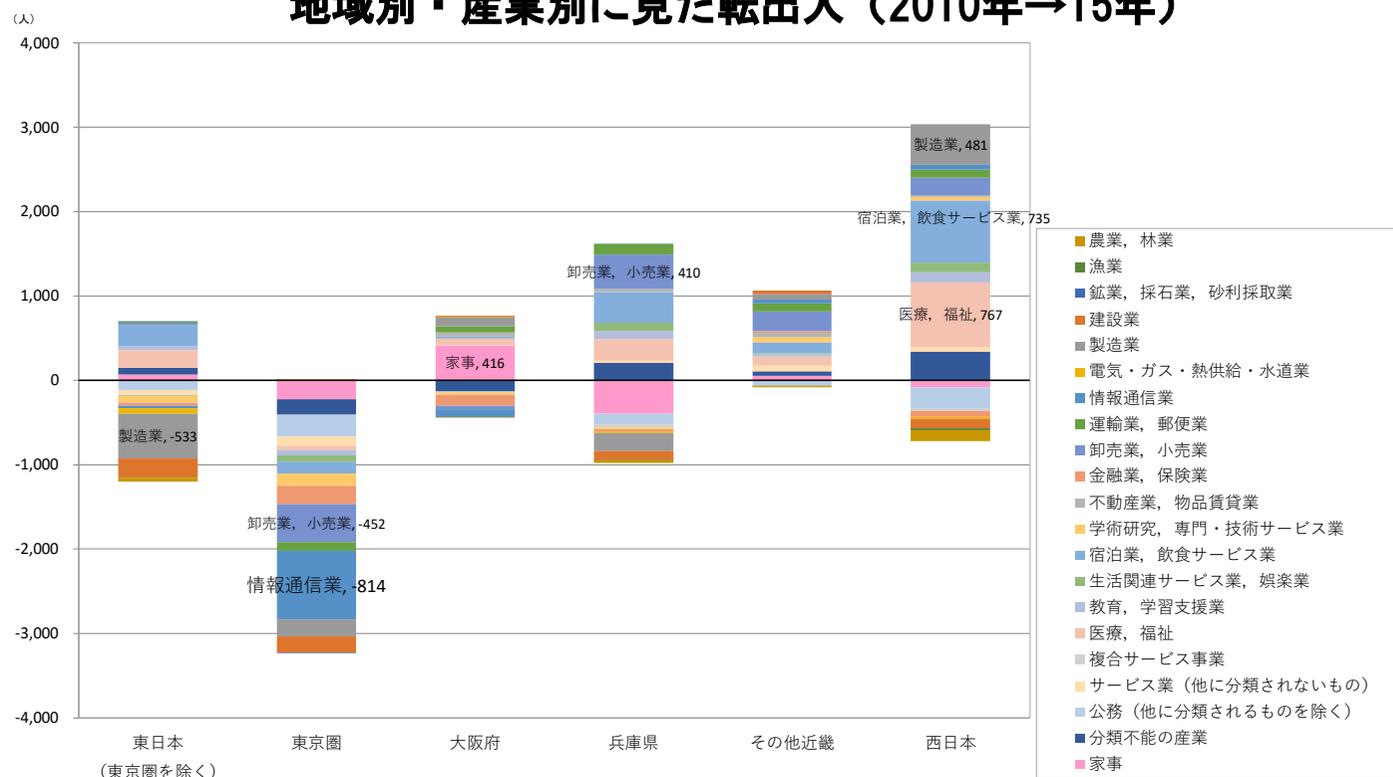


# 人口減少の背景

## 社会増減：情報通信業等の従事者が東京圏に流出

- ・ 就業者は西日本や兵庫県内他市町から転入超過。東京圏に対して大幅な転出超過
- ・ 産業別には、西日本から製造業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉といった産業の就業者が流入しているのに対して、東京圏に情報通信業や卸売業・小売業の就業者が流出

地域別・産業別に見た転出入（2010年→15年）



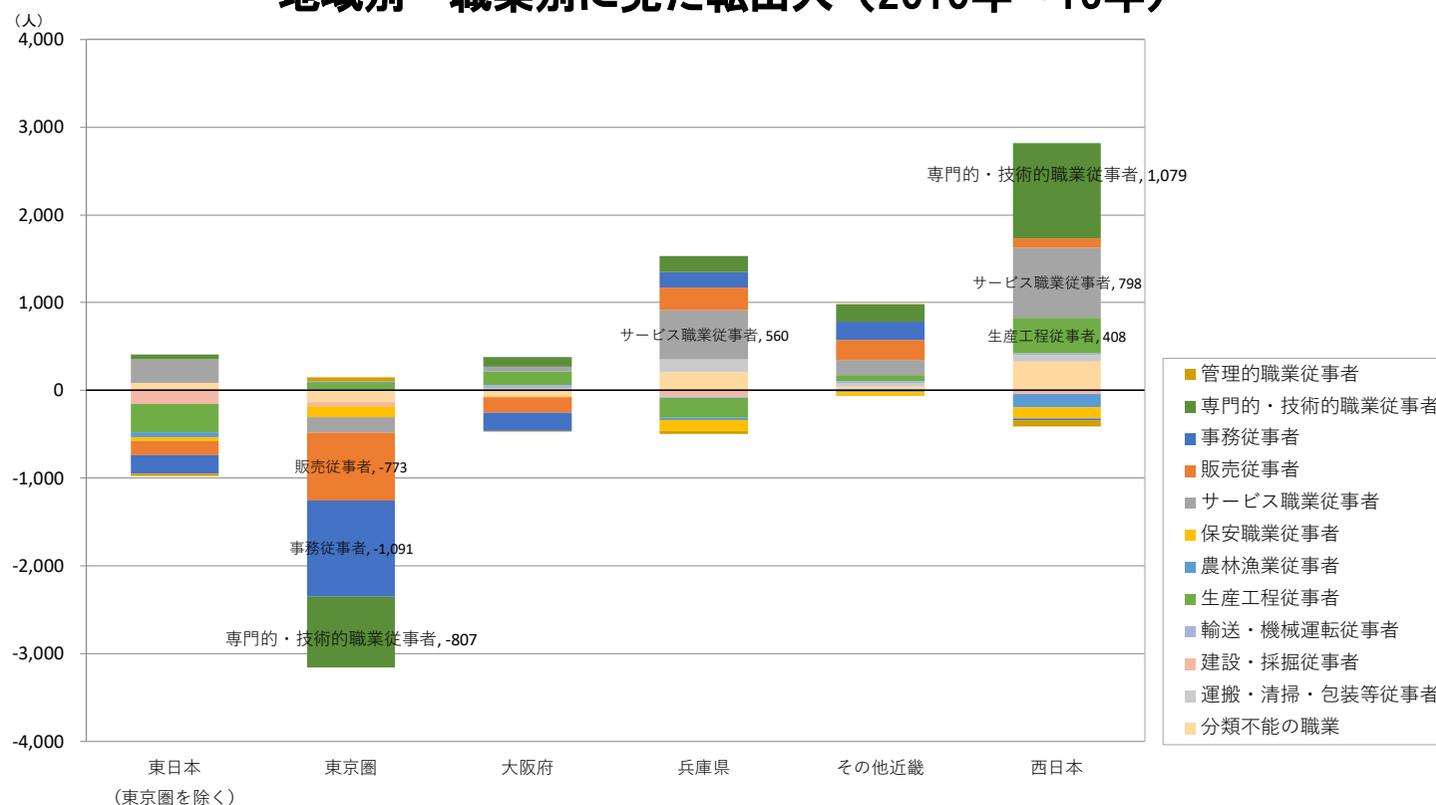
(注) 基本的に就業者をデータ整理の対象としているが、いわゆる主婦層の動向を分析するため、非就業者に含まれる「家事」を加えた。  
 (資料) 総務省「国勢調査」

# 人口減少の背景

## 社会増減：知的職業やオフィスワーカーが東京圏に流出

- ・ 職業別の転出入を見ると、西日本から専門的・技術的職業従事者、サービス職業従事者、生産工程従事者が流入し、東京圏に専門的・技術的職業従事者のほか、事務や営業など、主にオフィスを拠点に仕事をする人が大幅に流出

地域別・職業別に見た転出入（2010年→15年）



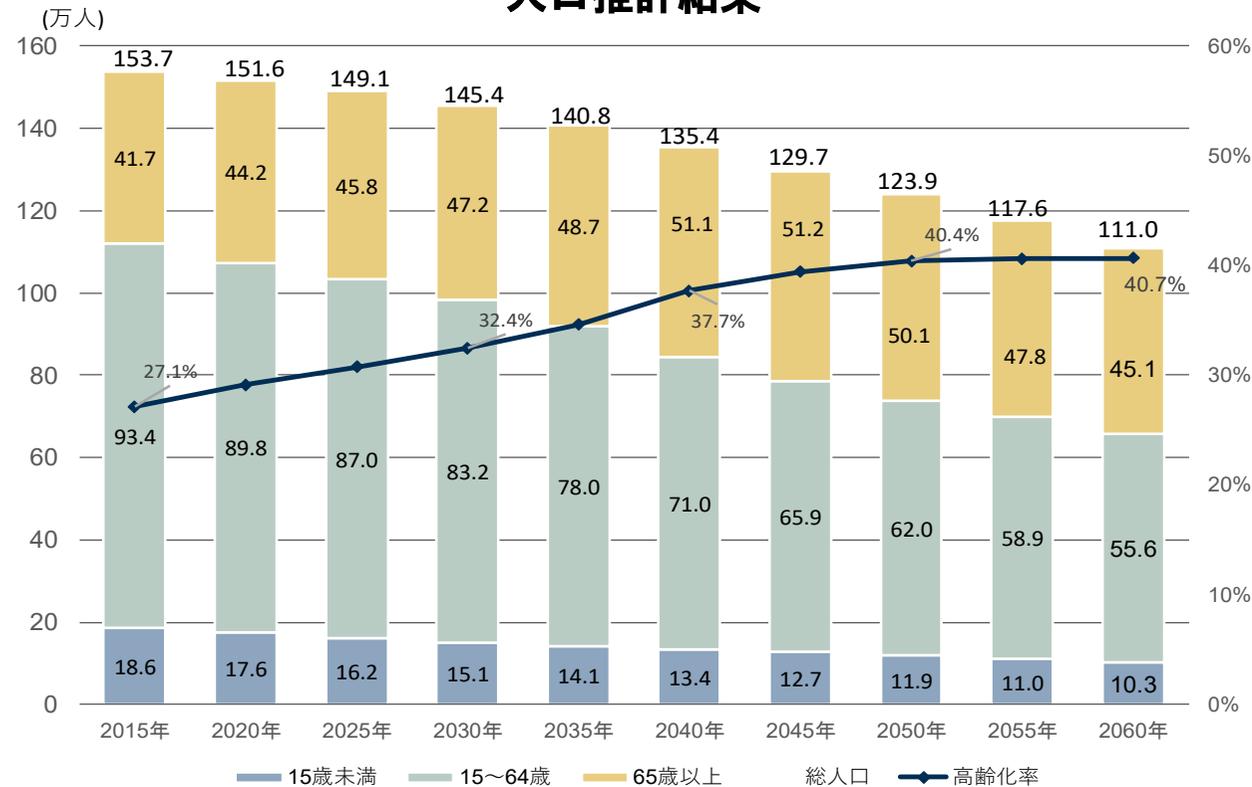
(資料) 総務省「国勢調査」

# 将来人口の推計

総人口は2030年に145.4万人、2060年には111.0万人

- ・ 国の動向と近年の人口動態を踏まえ、改めて基準となる将来人口を推計
- ・ 総人口は減少が続き、2030年に145.4万人、60年には111.0万人と見込まれる

## 人口推計結果



【推計方法】

- ・ 2020年の推計値から「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」における仮定値（純移動率、生残率、出生率、出生性比）を用いて推計している。（出生中位・死亡中位仮定）



# 将来展望と方向性

## 若者が選ぶまち（特に女性、知的産業の従事者等）

- ・ 働き、子育てをする若い世代が住みたいと思えるまち
- ・ 成長産業や知的産業に従事する若者が選ぶまち

### 人口変化が将来に与える影響

人口構造変化の要因	人口構造・人口構成の変化	人口変化に伴う影響	取り組むべき課題
都心回帰 郊外の人口減少	人口の偏在	過密地域と過疎地域の混在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職住近接の暮らしやすいまちづくり</li> <li>・ 持続可能な交通体系の確立</li> <li>・ 社会インフラの最適化</li> <li>・ 循環型の住宅政策</li> <li>・ 郊外の拠点エリアの再生</li> </ul>
未婚化・晩産化 少母化 (団塊ジュニア世代の中高年化)	少子化の一層の進行	将来を担う世代の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸で結婚・出産・子育てしたいと思える環境づくり</li> <li>・ 特色ある教育機会の提供</li> </ul>
ファミリー層の流出 若年層の東京圏等への流出	社会減 生産年齢人口減	労働力の不足 都市活力の低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働きながら子育てしやすい環境づくり</li> <li>・ 若者に魅力ある働く場の創出</li> <li>・ 高い技能・スキルを持った若者・女性が活躍できる環境づくり</li> <li>・ AI等の技術を活用した生産性の向上</li> <li>・ 高齢者も働きやすい環境づくり</li> </ul>
団塊世代の高齢化	高齢者(単身・高齢夫婦世帯等)の増加	支援が必要な高齢者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を中心とした見守り機能の強化</li> <li>・ 健康寿命の延伸</li> </ul>
外国人の増加	多国籍化	生活習慣の違いによる問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の受入環境の充実</li> <li>・ 多様な背景を持つ人が集い、力を発揮できる地域づくり</li> </ul>

# 神戸2020ビジョン総括報告書 (速報版)

神戸市企画調整局企画課



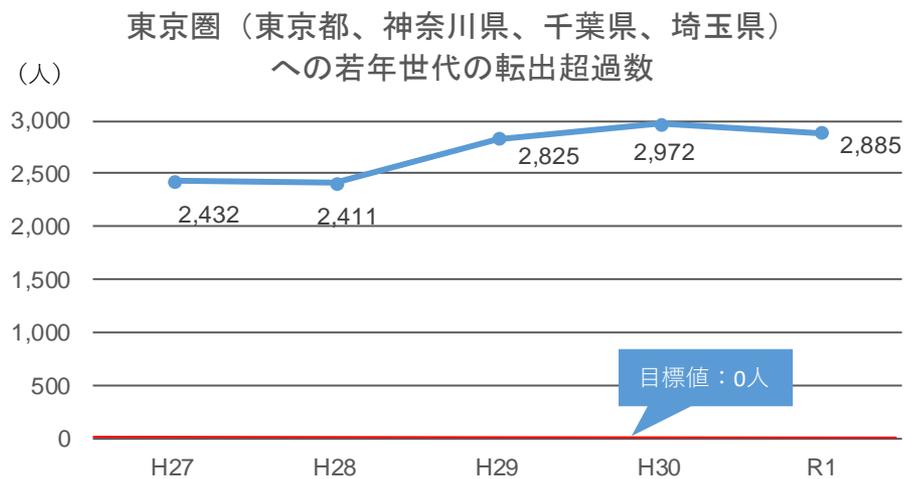
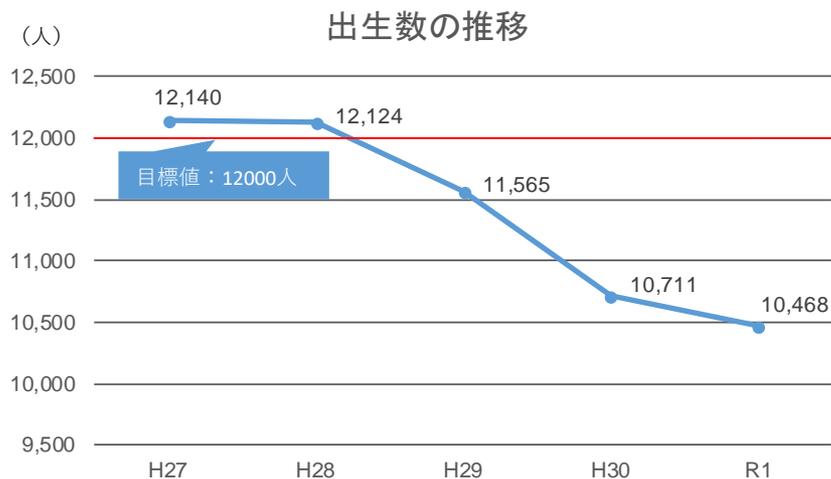
# 全体目標

**全体目標 1：年間12,000 人の出生数を維持**

→20・30歳代の女性が人口構造的に減少しており出生数は減少

**全体目標 2：若者の神戸市への転入を増やし、  
東京圏への転出超過 年間2,500 人を解消**

→毎年2000人台の転出超過が継続



# まちの質・くらしの質を示す指標

- ・ 居住環境や、都市イメージを評価する都市ランキングにおいて、神戸市は軒並み国内最上位クラスに位置する。

2019年世界生活環境調査  
(QUALITY OF LIVING SURVEY)  
都市ランキング

**神戸(49位)**

東京と並んで国内首位・  
アジアで2位(アジア1位はシン  
ガポール)

参考

横浜:55位  
大阪:58位  
名古屋:62位  
香港:71位

地域ブランド調査2019  
における神戸の順位

国際交流のまち・・・1位  
デザインやセンスの良いまち・・・1位  
居注意欲度・・・1位  
認知度(順位上昇6→5→4→4位)  
魅力度(順位上昇9→7→5→5位)

## 総評

- ・ 出産可能年齢の女性が人口構造的に減少しており、出生数の維持は厳しい状況。
- ・ 東京圏への転出超過は一定のペースで継続。解消には抜本的な対策が必要。
- ・ 高い都市イメージや、評価の高い生活環境を、若者が働き・住む場所として行動に移してもらえよう活かしていく取組が必要

(資料) マーサー「2019年世界生活環境調査(QUALITY OF LIVING SURVEY) - 都市ランキング」  
ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」



# 1. 若者に魅力的なしごとづくり

## 主な取組

### ■ 起業・創業環境の充実

- ・ 500スタートアップス（投資ファンド・起業家育成団体）との連携
- ・ 国連機関であるUNOPSと、グローバル・イノベーション・センター（GIC）を神戸市内に開設する合意書を締結
- ・ 地域・行政課題をスタートアップと市が協働して解決するプロジェクト「アーバンイノベーション神戸」の実施
- ・ アフリカ・ルワンダと連携し、起業体験プログラムの実施

### ■ 成長産業の誘致や成長を支える基盤整備の推進

- ・ 神戸医療産業都市への企業・研究機関等の誘致
- ・ 「神戸医療産業都市推進機構」の発足
- ・ 広域幹線道路や港湾施設等、成長を支える基盤の整備

### ■ 次代の基幹産業の育成

- ・ 成長が期待される様々な分野（航空・宇宙産業やICT、水素産業、ロボット、食など）における新事業開発の支援



# 主なKPI・指標

- ・市内の就業者数は平成24年に比べると増加している。
- ・誘致企業数は5年間で300社以上にのぼり、医療関連企業のほか、様々な企業の集積が進んでいる。

## 市内就業者数

### 実績値

(H24)

719,200人

(H29)

760,200人

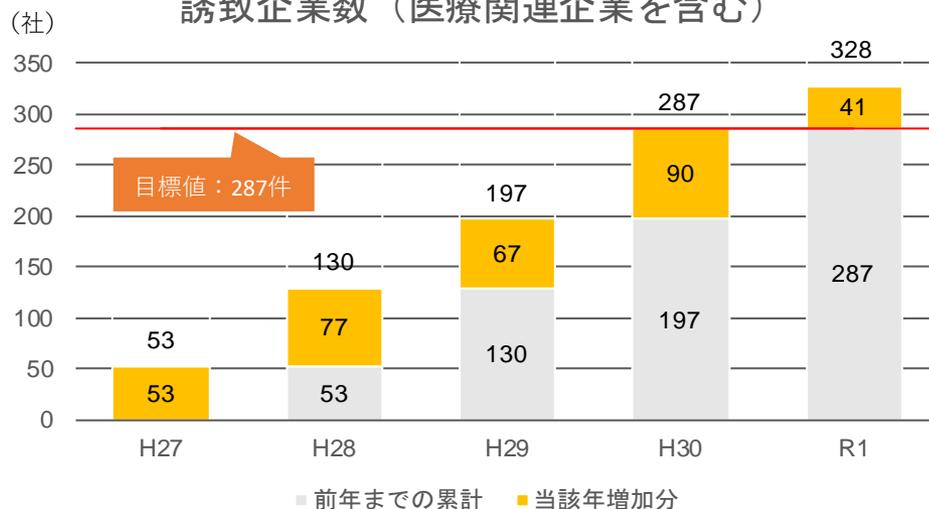
### 目標値(R2)

760,200人

以上

(資料) 就業構造基本調査 (H24,H29,R4予定)

## 誘致企業数 (医療関連企業を含む)



## 2. 若者を惹きつける魅力づくり

### 主な取組

#### ■ 移住・定住の促進

- ・ 移住体験・移住セミナー等を通じた移住・定住の促進
- ・ 「KOBE live+work」を核としたプロモーション活動の実施
- ・ 移住や都市と農村との交流の推進

#### ■ 大学生をターゲットとした市内定着の促進

- ・ 外国人留学生のための就職説明会の実施
- ・ 市内企業の認知度向上に向けた取組

#### ■ 住民サービスの利便性向上

- ・ 兵庫県との合同庁舎の開設（新長田）

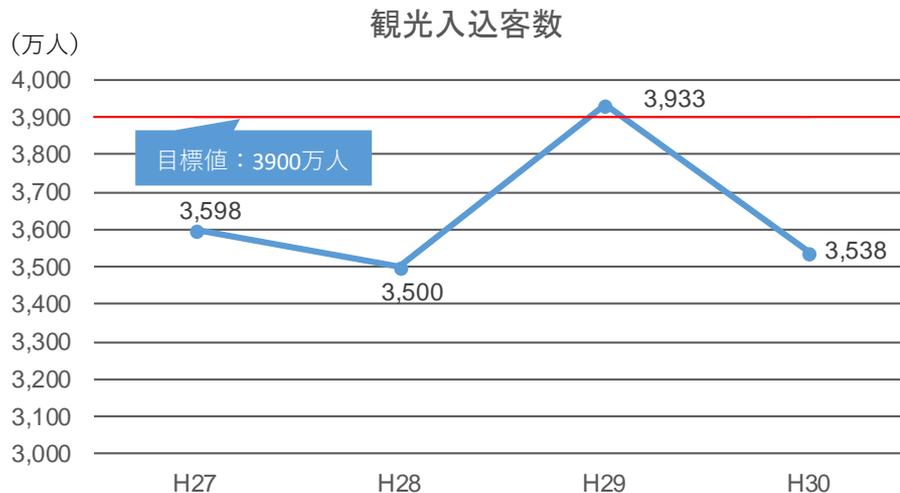
#### ■ 若者を惹きつける都市の魅力づくり

- ・ 訴求力の高いエリアの振興に向けたビジョンの提示と具体的な取組の推進（三宮周辺地区の「再整備基本構想」の推進、メリケンパーク・須磨海岸をはじめとするウォーターフロントの再整備、六甲・摩耶観光の振興、神戸空港等市内各所へのストリートピアノの設置など）



# 主なKPI・指標

- ・観光客については、目標値の3900万人を突破する年もあったが、コロナ禍の影響もあり、当面厳しい状況が続くと見込まれる。
- ・新長田駅南の再開発が進んでおり、今後の昼間人口の増加が期待される。



## 新長田駅南再開発エリアの 昼間人口

実績値 (H27)  
3,499人

目標値 (R2)  
4,500人

(資料) 経済センサス基礎調査



# 3. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり

## 主な取組

### ■ 妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

- ・ 妊婦健康診査に対する公費助成、産後ケア事業の実施（KOBE子育て応援団「ママフレ」など）
- ・ 子育て世帯への経済的支援の拡充
- ・ 待機児童の解消・学童保育の拡充

### ■ 教育環境の充実

- ・ 学習支援ツールの全義務教育学校等への導入
- ・ 学校園施設の大規模な老朽改修の実施

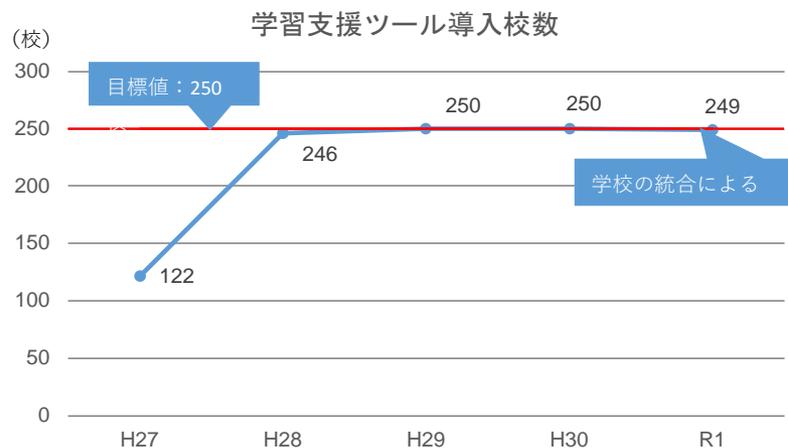
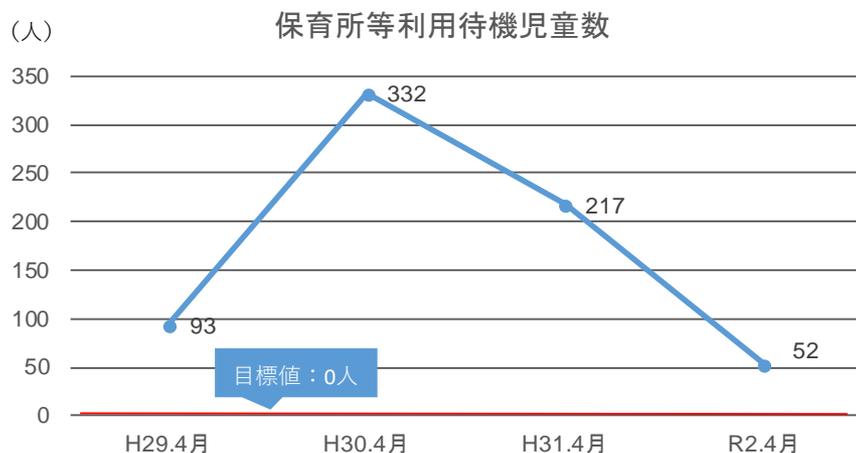
### ■ 働き方改革の推進

- ・ 企業の働き方改革推進支援や、女性の就職・再就職支援（企業向けのテレワークの導入支援など）



## 主なKPI・指標

- ・ 保育所等利用待機児童は、一時300人を超えていたが、順調に減少している。
- ・ インターネットを活用した学習支援ツールについては、全小・中・義務教育学校、特別支援学校等で導入された。



# 4. 次世代の将来を約束できる環境づくり

## 主な取組

### ■ 公共交通の利用環境の充実

- ・ 北神急行線の市営化に伴う運賃の大幅値下げ
- ・ コミュニティバス・タクシー等の運行への支援
- ・ 駅前の自転車利用環境の整備

### ■ 陸・海・空の交通基盤の充実

- ・ 広域幹線道路の整備の進展  
(大阪湾岸道路西伸部(阪神高速湾岸線)の起工など)
- ・ 神戸空港の発着便・就航都市の増加が実現
- ・ 神戸港のコンテナ取扱個数が過去最高を更新(平成30年)

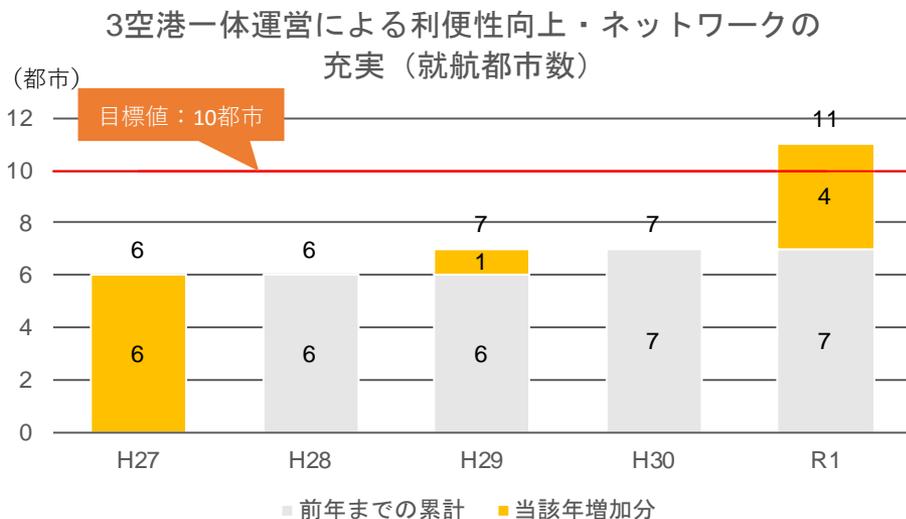
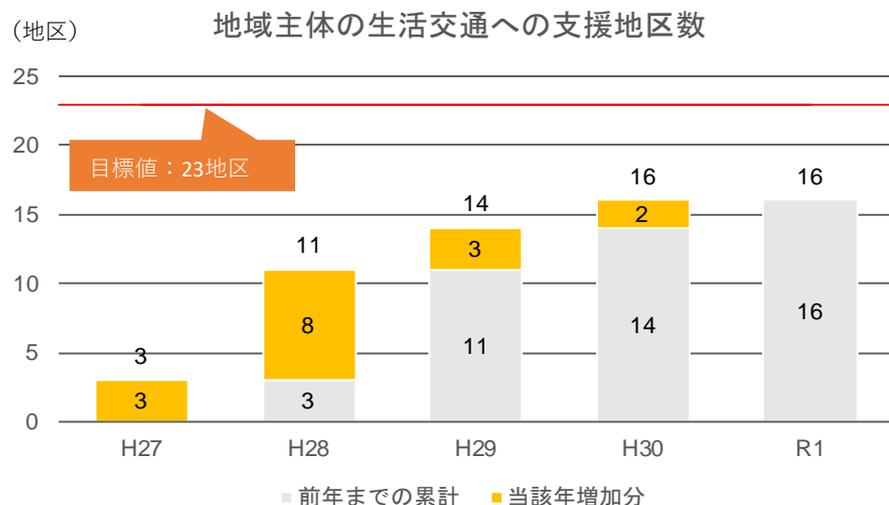
### ■ 環境にやさしい持続可能なまちづくりの推進

- ・ 食品ロスの削減を通じたごみの減量  
(神戸市食品ロス削減協力店制度「goodbye food loss,KOBE」)
- ・ 公民連携での水素エネルギー利活用拡大の取り組みの推進



# 主なKPI・指標

- ・ 地域主体で生活交通を維持していこうという動きが広がっている。
- ・ 3空港一体運営、運用時間の延長等に伴い、神戸空港の就航都市数が増加した。



# 5. 安心なくらしづくり

## 主な取組

### ■ 魅力ある居住環境の形成

- ・ リノベーション・神戸
- ・ 「神戸里山暮らし」の推進
- ・ 市街地西部地域（地下鉄海岸線沿線）の活性化

### ■ 神戸における国土強靱化の推進

- ・ 総合的な防災対策と神戸における国土強靱化の推進  
（河川等の土砂災害対策、浸水対策（妙法寺川・伊川・櫛谷川の改修）、地震・津波対策（緊急輸送路に架かる橋梁の耐震補強）、大規模多様化する自然災害に対応できる消防・救急体制の構築（庁舎の自立機能を強化した須磨消防署の建設）など）

### ■ 「健康創造都市KOBE」の推進と地域福祉の充実

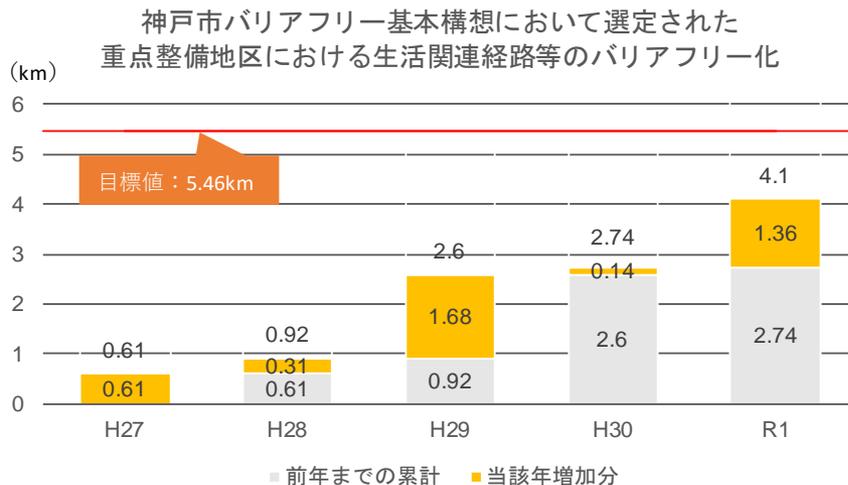
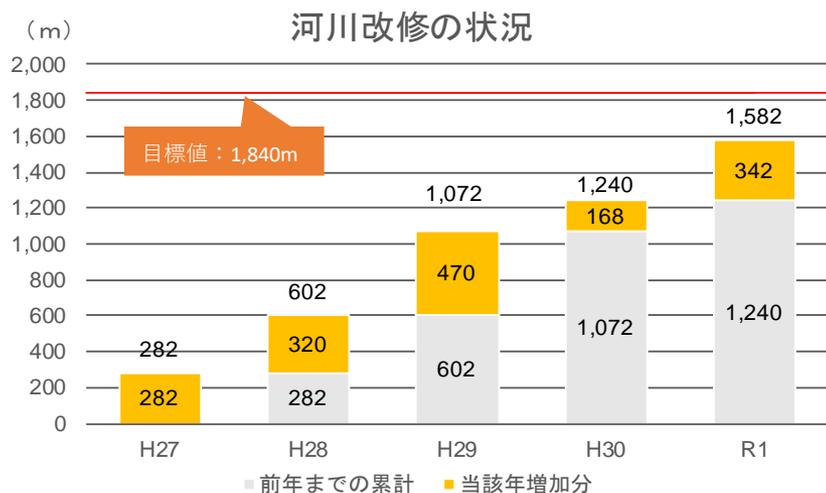
- ・ 後期高齢者の増加に対応した地域福祉の充実への取組  
（健康サポートアプリ「MY CONDITION KOBE」、認知症神戸モデルなど）

### ■ 安全・安心な地域づくり

- ・ 空き家対策、住宅セーフティネットの整備、貧困の連鎖防止
- ・ 公共空間のバリアフリー化推進

# 主なKPI・指標

- ・ 土砂災害対策・浸水対策が必要な河川の改修は順調に進行している。
- ・ 神戸市バリアフリー基本構想において選定された重点整備地区における生活関連経路等のバリアフリー化が進んでいる。



# 6. 地域と地域の連携づくり

## 主な取組

### ■ 顔の見える地域社会づくり

- ・ 地域におけるコミュニティ活動を通じた、地域課題解決の支援
- ・ ソーシャルビジネスを行う事業者や起業家への助成

### ■ 区役所改革の推進

- ・ モデル実施の検証を踏まえた、総合窓口のさらなる展開（長田区、北区、垂水区）
- ・ 新たな総合庁舎の建設に向けた動きの進展（兵庫区、北区は完成済）

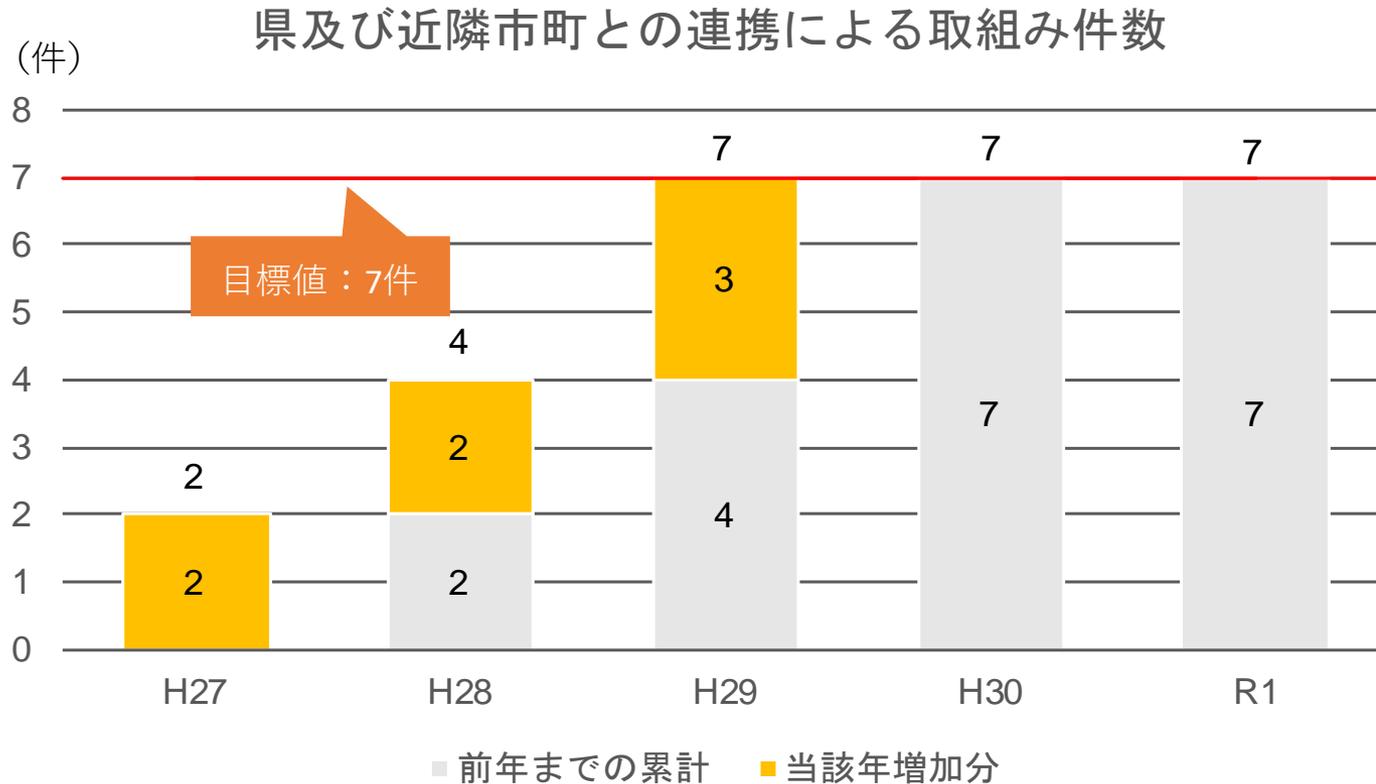
### ■ 他自治体との連携

- ・ 周辺自治体との連携の推進  
（図書館の相互利用、水道の安定供給に向けた取組など）
- ・ 兵庫県との連携の実現（新長田合同庁舎の供用）（再掲）
- ・ 淡路島内3市（洲本市、南あわじ市、淡路市）との連携・協力に関する協定を締結



# 主なKPI・指標

- ・ 県及び近隣市町との連携による取組件数は順調に増加している。



## 第1回神戸2025ビジョン策定に向けた有識者検討会議 主なご意見

## 1. 論点1：2025年に向けて、神戸市の「目指すべき姿」をどのように考えるか。

- ・人の暮らしや生活を第一に考えた「一人ひとりを大事にする、人にやさしい、地に足のついたまち」。
- ・中規模ではあるが衣食住困らず、「一人ひとりのケアが行き届くまち」。
- ・震災を経験したまちだからこそ、「災害が起こってもダメージを受けず、大丈夫なまち」。
- ・コロナの影響下で「リバビリティ（安心して住みやすいまち）」、DX、スマートシティなどの実現で「サステナビリティ」、またこのような状況であっても各国の「競争」ではなく「協奏」を目指す「グローバリゼーション」の3点が大切。さらに、色々なものを学習し、事業化していく「学習する都市」としての視点も持つべき。
- ・コロナにより東京一極集中の課題が浮き彫りになった点を踏まえ、規模でなく、「世界で、関西できらりと輝くまち」。
- ・豊かな住環境や自然を活用し、「新しいライフスタイルが実現できるまち」。
- ・外国人に多文化の背景を持った市民として定着してもらい、本当の「国際化」した市民が増えれば良い。
- ・市内企業の大半を占める中小企業について、DXを積極的に取り込み、「東京の下請け」でなく「域外から稼ぐ」元受けにならないといけない。
- ・若者を増やし「活気があるまち」。
- ・神戸には「ハイセンス」、「ハイカラ」だけではない様々な魅力があるので、それらを脱ぎ捨てて新しいイメージをつくるべき。
- ・「ゆとりあることを魅力とした住みやすいまち」を維持して欲しい。

## 2. 論点2：「目指すべき姿」を実現するために、全体構成（案）は十分か。（盛り込むべき要素、修正すべき点等）

## 【全体に関して】

- ・どの計画も抽象的でわかりにくい表現となる傾向があるので、ある程度具体的な表現とすべき。
- ・5年後の計画ということで、全体的にコロナに関しては、これほど打ち出さなくて良い。テーマや施策の柱に「コロナ」という言葉は入れない方が良い。「感染症対策」が第一優先であるかのような印象は避けるべきであるので柱の順番も検討するべき。
- ・今回の計画は、感染症への対応が前提にあるべき。
- ・まちが前進していくために「変化、成長、進化」という要素は必須ではないか。
- ・文化、芸術は町の魅力、人を惹きつける要素として重要である。
- ・神戸には、バレイ、日本舞踊など認知されていない魅力が沢山ある。それらを整理し、

結び付けて、「多様性」として発信していければ良い。

#### 【取組の視点・横断目標に関して】

- ・「Society5.0」は今回のコロナを踏まえると、日本はデジタル化で遅れており、加速が必要であるとともに、分野もDXなども含め幅広く記載すべき。
- ・「神戸からイノベーションを起こしていく」といった視点も加えるべき。
- ・「人を大切にする」といった視点も必要。
- ・SDGsは網羅するのではなく、注力分野を打ち出せば良い。

#### 【施策の柱に関して】

- ・神戸には、地域によって異なる人間関係を有する「多様性」がある。このような神戸ならではの魅力を訴えることができれば良い。
- ・田舎暮らしも都会暮らしも可能なまちであることを打ち出すべき。
- ・郊外、山や海といった魅力的な自然があり、田舎暮らしや都会暮らし等生活スタイルの選択肢が多様である点を伝えられれば良いのでは。
- ・昔から外国人が住んでおり、進取の気性があり、色々な生き方ができるまちであるので、「多様性」をもっと打ち出すべき。
- ・「共生」ということで「障害者」についても言及するべき。
- ・若者だけでなくシニア層の視点も入れるべき。
- ・経済成長に関しては、「域外から稼ぐ」視点とそれを「域内で分配する」視点が重要である。
- ・昨今の感染症や阪神淡路大震災を経験したまちとして、①も②も無視できない。
- ・震災を経験したまちとして、「災害」という文言は入れた方が良いのでは。
- ・今回の感染症を踏まえ、「集約」より「分散」、「効率」より「余裕」や「ゆとり」が重要になってきている。

### 3. 論点3:「目指すべき姿」を実現するために、具体的にどのような施策を進めていくか。

#### 【まちづくり全般】

- ・神戸の夜の街は東京・大阪と比べ静か。人間本来の生活リズムと調和しており良い。一方で観光等から見れば課題。
- ・夜に開いている美術館など、夜に過ごせる場所を増やすべき。
- ・公共空間、施設でのインターネット整備は重要。
- ・空き家対策は重要。
- ・西神中央のそごう跡地はビジネスが起こせる場として活用してもらいたい。
- ・「多文化・多様性」に関して、もっと国際色をあらゆる場面で「見える化」していったら良い。

- ・観光に関し色々とスポットがある割には目玉となる場所が無い。重点的にどこかに絞ってPRしていくべき。綺麗にリノベーションする場所と昔ながらの情緒を残す場所でコンセプトを明確に区別した方が良い。
- ・地域に貢献したいという若者が増えている。市の採用を増やし、そういった人々の受け皿を増やすことで、人口増加や災害時などの安心にもつながるのでは。
- ・震災前に「アーバンリゾートフェア」という神戸のまち全体を舞台にしたジャズイベントがあったが、実際に神戸の暮らしを見てもらう良いイベントだった。実際に住んでもらうには暮らしを見てもらわないといけないので、このような工夫も必要。
- ・神戸には、大都会にはない余裕、ゆとりある空間を活かして密にならず文化、芸術を楽しんでもらう素地があるので、利用し、発信していくべき。
- ・アートで若者が活躍できるようなものを作っていくべき。
- ・また、いつも音楽が流れているようなまちにする仕組みが作れば良い。
- ・震災で遅れた各種インフラ関連、またデジタル投資を加速し、メリットを見出しながらまちづくりを進めていく必要がある。
- ・神戸のランドデザインを描き、それをプロデュースできる人材の招聘が必要。

#### 【子育て・教育施策】

- ・経済的支援が充実すれば子供を持つと思う。特に公立学校に通う貧困世帯の子どもたちにも目を向けるべき。
- ・経済的にひとり親でも安心して育てられる環境は重要。
- ・神戸の保育士の定着率や職場環境は意外と保護者から注目されているので、PRの支援でそういったところにも目を向けるべき。
- ・「保育所に入園できるかどうか」が直前まで分からないなど、不安になる要素が多い。丁寧な情報発信をしていくべき。
- ・塾に行かなくても良いような学校教育の質を担保できれば魅力的。
- ・教育のインターネット環境整備は重要。
- ・教育が古く画一的である。生徒一人ひとりへの十分なアプローチが必要。

#### 【交通施策】

- ・ポータライナーの混雑緩和は解消が必要。
- ・MaaSは大変な取り組みであるが、検討していくべき。
- ・バスのルートをもっと魅力あるものに他方が良い。
- ・神戸空港の発展に期待している。

#### 【医療・介護・福祉・危機管理等】

- ・神戸の医療体制は誇れるものがあるので、もっとPRするべき。

- ・新型コロナウイルスの影響で、地元志向が高まっており、働く機会の提供が重要。より多くの専門職の確保や、医療現場の就労環境の改善が必要。
- ・感染症と自然災害が重複する時代の危機管理体制の強化が必要。

#### 【経済・産業】

- ・食文化が豊かであるので、例えば神戸産のものしか扱わないレストランなど明確にわかる地産地消の取組などがあれば良いのでは。
- ・女子大生に対して「神戸で仕事したい」と思わせるようにしなければならない。
- ・外国人を単なる「労働者」として捉えるのではなく、高度人材を呼び込まなければいけない。住環境を整備し、外国人にとって魅力的なまちにする施策が必要。
- ・在宅勤務はなかなか難しい面もあり、そのようなことも考慮したうえで、拠点となる場所にもっとワーキングスペースの整備をしていけば良い。
- ・働く場所の多様化を見据えワーキングスペースを整備していくべき。
- ・DX の推進により域外から稼ぐ力をもつ中小企業を育てないといけない。神戸環境マネジメントのような、DX に対するマネジメントシステムを導入して欲しい。
- ・神戸の学生に地元企業に就職、定着してもらうため、合同説明会や公営住宅の空きを地元企業へ開放するなどの施策が必要。

#### 【地域の活性化】

- ・若い人たちも地域の中でつながりを求めているので、そのような施策を進めていくべき。
- ・若者がもっと地域で参画できる場を作るべき。

ビジョンのテーマ（仮）

若者が選ぶまち + 誰もが活躍するまち + 多様な自然と都市が奏でるゆとりのまち

ビジョンの取組の視点・横断目標、施策の柱（仮）

取組の視点・横断目標

1. 神戸の強み（多文化共生、多様性、進取の気性）を活かしたSDGsの達成
2. あらゆる危機への平時からの備え
3. 進化するテクノロジーの実装による市民生活の利便性の向上（デジタル化の加速、Society5.0の推進、EBPM（エビデンスに基づく政策立案））

施策の柱

①魅力的な仕事の創出による持続可能な経済成長	②神戸独自の魅力の磨き上げと発信	③結婚・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実	④災害や感染症等を踏まえた社会システムの構築	⑤安心・安全、健康でゆとりあるくらしの実現	⑥将来にわたり持続可能なインフラの整備	⑦産学官連携強化と地域コミュニティの活性化
------------------------	------------------	--------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------

柱ごとの数値目標・施策・事業・事業のKPI

国の第2期「総合戦略」



勘案

- 【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する
- 【横断的な目標2】新しい時代の流れを力にする（Society 5.0の推進、地方創生SDGsの実現など）

【基本目標1】 稼ぐ地域をつくるとともに、 安心して働けるようにする	【基本目標2】 地方とのつながりを築き、地方への新しい ひとの流れをつくる	【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	【基本目標4】 ひとが集う、安心してくらすことができる魅力的な 地域を作る
--	---	------------------------------	---

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>①魅力的な仕事の創出による持続可能な経済成長</b>			
	1	市内企業の活性化と雇用環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の人材確保支援</li> <li>・外国人材獲得支援</li> <li>・都市型創造産業の振興</li> <li>・オフィスビル建設促進制度の創設</li> <li>・オフィス賃料補助の拡充</li> <li>・地域商業活性化支援事業</li> </ul>
	2	革新的な起業・創業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UNOPSグローバルイノベーションセンターの整備</li> <li>・県市協調ファンドの創設</li> <li>・大学発「Urban Innovation KOBE」の促進</li> <li>・スタートアップ支援</li> <li>・知的交流拠点の整備</li> </ul>
	3	新規事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Be Smart KOBE」プロジェクトの推進</li> <li>・六甲山スマートシティ構想の推進</li> <li>・海洋産業の推進</li> </ul>
	4	農村地域等の持続的な発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な農業の振興(スマート農業導入補助の創設など)</li> <li>・農村定住環境の整備(農村地域移住世帯に対する空家改修費用補助など)</li> <li>・自然文化環境の保全(ジビエの実需調査など)</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>②神戸独自の魅力の磨き上げと発信</b>			
	1	芸術・文化・スポーツを楽しむまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>【芸術・文化】</li> <li>・六甲ミーツ・アートへの支援</li> <li>・フルートによる「音楽のまち神戸」の発信</li> <li>【スポーツ】</li> <li>・ワールドマスターズゲームズ2021関西の神戸開催準備</li> <li>・神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会の開催準備</li> </ul>
	2	三宮再開発関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新バスターミナル整備に向けた事業化の推進</li> <li>・三宮クロススクエア(フェーズ1)の整備</li> <li>・さんきたアモーレ広場及びさんきた通り等の再整備</li> </ul>
	3	ウォーターフロント地区の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターフロント地区の再開発</li> <li>・BRT・LRT導入可能性検討</li> </ul>
	4	「食都神戸2020」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸の食文化創造事業</li> <li>・食文化広域ネットワークの構築</li> <li>・ファーマーズマーケットの拡大</li> <li>・ウェルカムフラワーデコレーション事業</li> <li>・「SAKE selection 2020」の兵庫開催</li> </ul>
	5	駅周辺のリノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新神戸駅、神戸駅、兵庫駅、伊川谷駅、新長田駅など</li> </ul>
	6	六甲山・摩耶山の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンスローモビリティを導入したトランジットモール化の社会実験</li> <li>・山上へのアクセス検討</li> <li>・山上の歩道の整備</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>③結婚・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実□</b>			
	1	子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの遊び場拠点の整備</li> <li>・学童保育の充実</li> <li>・こべっこウェルカムプレゼント</li> <li>・総合児童センター移転拡充</li> </ul>
	2	保育定員の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育受入れ枠の確保</li> <li>・新たな保育定員確保対策</li> </ul>
	3	保育人材の確保策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育人材確保・定着への支援</li> <li>・保育士の負担軽減</li> </ul>
	4	学びの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の過密化対策</li> <li>・スクールカウンセラーの配置拡充</li> <li>・神戸市外国語大学のブランド強化</li> <li>・こどもの創造的学びの推進</li> </ul>
	5	児童生徒の学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある英語教育の推進</li> <li>・ICT環境整備</li> <li>・学習支援ツール</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>④災害や感染症等を踏まえた社会システムの構築□</b>			
	1	感染症への検査体制の強化及び医療提供体制の安定的確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間・医療機関等によるPCR検査機能の拡充</li> <li>・感染症患者の臨時病棟の整備</li> <li>・医療機関や避難所等における医療物資の確保</li> </ul>
	2	市民生活の維持・新しい生活様式への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再開に伴う学びの保障と感染症対策</li> <li>・学校園における教育ICT環境の充実</li> <li>・マイナンバーカードの普及促進</li> <li>・熱中症対策</li> </ul>
	3	経済活動の維持・回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業チャレンジ支援補助金</li> <li>・オンラインストアへの新規出店支援による販路拡大</li> <li>・こうべ文化芸術・スポーツ活動応援事業</li> </ul>
	4	国土強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害対策の推進</li> <li>・道路防災対策の推進</li> <li>・河川災害対策の推進</li> <li>・高潮・津波・内水氾濫対策</li> </ul>
	5	避難支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の環境整備</li> <li>・次世代自動車による外部給電(神戸モデル)の普及啓発</li> <li>・災害時要援護者支援体制の強化</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>⑤安心・安全、健康でゆとりあるくらしの実現</b>			
	1	くらしの安心・安全を守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症「神戸モデル」の推進</li> <li>・未就学児の交通安全緊急対策</li> <li>・防犯カメラの直営設置</li> </ul>
	2	健康づくりの推進・医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施</li> <li>・しあわせの村のリニューアル</li> <li>・外国人に対する結核対策の強化</li> </ul>
	3	神戸医療産業都市の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「次世代医療開発センター(仮称)」の整備</li> <li>・神戸未来医療構想の推進</li> <li>・革新的医療技術の創出・事業化促進 (神戸リサーチコンプレックスの推進など)</li> </ul>
	4	空家空地対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽空家等解体補助制度の拡充</li> <li>・空き家リフォーム推進事業</li> <li>・ライフステージに応じた住替え支援の拡充</li> <li>・住宅ストックを活用した転用リフォーム補助の創設</li> </ul>
	5	障害者施策の総合的な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者支援センターの全区設置</li> <li>・相談支援体制の充実</li> <li>・障がい者の多様な働き方の創出</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>⑥将来にわたり持続可能なインフラの整備</b>			
	1	地域における交通利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかで持続可能な交通環境の形成</li> <li>・地域コミュニティ交通支援の拡充</li> <li>・駐輪場整備の推進</li> </ul>
	2	陸海空の交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際コンテナ戦略港湾の推進</li> <li>・大阪湾岸道路西伸部の事業促進</li> <li>・ポートアイランド・神戸空港島へのアクセス向上</li> </ul>
	3	自然と環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・里山整備の推進</li> <li>・再生可能エネルギー・分散型エネルギーの推進</li> </ul>

取組み中の主な事業(令和2年度予算)

柱	No.	タイトル	主な内容
<b>⑦産学官連携強化と地域コミュニティの活性化</b>			
	1	地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄海岸線沿線の活性化</li> <li>・HAT活性化プラン～アートを活かしたまちづくり～</li> <li>・メトロこうべのリニューアル</li> </ul>
	2	市民との協働の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の組織改正により産学官民連携機能を強化</li> <li>・地域課題解決のため、課題に応じたコーディネーターの配置</li> </ul>
	3	地域における協働推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人支援の充実</li> <li>・外国人児童生徒等への支援の充実</li> <li>・「KOBE社会貢献プラットフォーム」の設置</li> </ul>

# 神戸2025ビジョン策定スケジュール(11月までの予定)

資料9

## ワーキンググループの日程及び主な検討事項(予定)

### ワーキンググループ

#### 第1回:8月5日(水)

- 神戸市内外を取り巻く状況説明
- 第1回有識者の議論を踏まえた神戸2025ビジョンの大枠説明
- ビジョンにおいて取り組む施策アイデアの案出

#### 第2回:8月下旬~9月上旬

- 各種アンケート、ヒアリング調査等報告
- 柱ごとの基本的方向性、施策、主要事業とKPIについて事務局案のご報告
- 事務局案を踏まえて意見交換

ワーキンググループ議論内容について、代表者から第2回有識者検討会議にて報告。

### 有識者検討会議

#### 第1回:7月中

- 神戸市内外を取り巻く状況説明ビジョンのテーマ、施策の柱当全体構成についての検討

#### 第2回:9月中

- ワーキンググループ議論の報告
- 各種アンケート、ヒアリング調査等報告
- 施策、主要施策、KPIの検討

#### 第3回:10月前半

- 神戸2025ビジョン(素案)についての検討